
ID: 156
論文No: 156
論文名: NTTの分割・再編成――持株会社・特殊会社方式をめぐって

掲載誌名: 『国際経済労働研究Int'lecowk』
巻: No.892
号: 1999年8月
ページ: pp.23-32

書名:

発行者名:

発行年:

発行月:

ページ:

発表・講演等:

ページ:

単共: 1. 単著 / 編 / 編著 (1.単著 / 編 / 編著 2.共著 / 編 / 編著)
刊行種別: 3. 学術雑誌 (1.単行本 2.大学・研究所紀要 3.学術雑誌 4.その他)
言語: 1. 日本語 (1.日本語 2.英語)
内容種別: 2. 学術論文
分野種別: 1. テレコム
接近方法種別:

概要: 1999年7月に実施されたNTT(日本電信電話株式会社)の分割・再編成について、その概要と経過を説明し、分割・再編成の意義を考えた。とりわけ、NTTの将来の発展方向の1つとしてネットワーク・コンテンツなどシステム上部要因にかかるビジネスのウェイトが高まることを予測して、そのために同分割・再編成時に導入された持株会社方式が有効であることを述べた。また、NTTを含む日本の通信産業の発展のためには、同分割・再編成時に温存された持株会社方式の見直しを含む規制緩和・規制内容の明確化・客観化が必要であることを主張した。

Act-No: Act-364, ,

備考: キーワード: NTT、日本電信電話株式会社、NTTコミュニケーションズ、NTT再編成、NTT法、日本電信電話株式会社法、持株会社、特殊会社、独占禁止法、規制、郵政省、インフラ業務、ネットワーク業務、コンテンツ提供、上下分離、規制の不確実性、規制緩和
